平成20年度　施策評価シート

◆総合計画における位置付け等

平成20年7月23日記入

基本目標	学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	18120
政策名（章）	第8章　国際平和と人権が尊重される社会を実現します	評価担当局	市民局
基本施策名（節名）	第1節　世界とともに生きる地域社会の実現	施策所管課	文化国際課
施　策　名	国際交流・国際協力の推進	課長名	瀬戸　茂美

1　施策の目的・概要（目的はわかりやすく記入）

世界に開かれた地域社会づくりをめざし、中国(無錫市)、カナダ（トロント市、トレイル市）との教育・文化・スポーツ・青少年・経済など様々な分野での交流を通じ、友好都市との相互理解と国際親善を推進します。
また、世界各都市との幅広い交流や協力を通じ、市民一人ひとりが「地球市民」としてのグローバルな視野に立って判断し、「ともに生きる社会」をめざして行動できるよう市民主体の国際化や国際理解を推進します。

2　事業費・人員

（単位：千円）

年度	平成17年度（決算）	平成19年度（決算）	増減の主な理由
事業費	20,194	10,026	平成17年度は友好都市締結20周年の節目の年であったため、記念事業等を開催したため、19年度決算額を上回っている。
人件費	16,100		
市民一人あたりの事業費（単位：円）	30	14	
合計	36,294	10,026	

＊人件費は、職員一人あたり　H17：805万円、H19：805万円として算定。人口は、66.7万人（H18.4.1現在）、70.6万人（H20.4.1現在）とした。

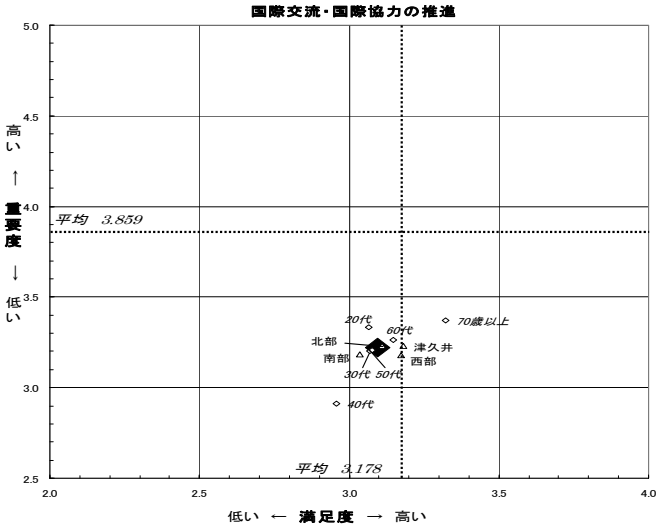
3　成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	目標値の考え方（根拠）
指標1	友好都市・カナダトレイル市との交流率（%）	交流事業参加者数/過去5年間平均交流者数である21人を100%とした。	過去5年間平均交流者数と同等の交流人数21人を超えることを目標とした。
指標2	友好都市・中国無錫市との交流率（%）	交流事業参加者数/過去5年間平均交流者数である84人を100%とした。	過去5年間平均交流者数と同等の交流人数84人を超えることを目標とした。
指標3			
指標4			
指標5			

	基準年	基準値	H19		H20		H21		H22	
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
指標1（単位：%）	過去5年平均値	100.0	100.0	109.5	100.0		100.0		100.0	
事業費/人員										
指標2（単位：%）	過去5年平均値	100.0	100.0	111.9	100.0		100.0		100.0	
事業費/人員										
指標3（単位：%）										
事業費/人員										
指標4（単位：%）										
事業費/人員										
指標5（単位：人）										
事業費/人員										

4　市民満足度調査結果（平成20年度実施分）

〇この施策の満足度は3.096で121施策の中で79番目。
〇重要度は3.221で119番目である。
〇改善要望度は-0.3933で116番目である。
〇年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、40代で最も低くなっている。重要度は70歳以上で最も高く、40代で最も低くなっている。
〇地区別にみると、満足度は津久井で最も高く、南部で最も低くなっている。重要度は津久井で最も高く、西部で最も低くなっている。



5　1次評価（2つの視点から評価を行う）

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H18評価点	前回（H18）評価結果との比較分析
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	(4) 2　1	(4) 2　1	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4　2 (1)	4　2 (1)	
合計		5	評価結果に基づく区分（2項目の合計点数による） A（6点以上）　B（5点・4点）　C（3点以下）	1次評価 B

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6　課題と解決策（現状または、評価結果から）

課題	・市民主体の交流を一層促進する必要がある。 ・国際交流・国際協力に関する住民理解を高める必要がある。
解決策	・市民間における交流事業の継続や新たな分野における交流促進を図る。 ・国際交流・国際協力事業の重要性に関心をもっていただくことや理解していただくため、広報やホームページを活用し、友好都市に関する情報を的確に発信する。

7　2次評価及び意見（1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入）

市民にわかりやすい指標設定を行う必要がある。 ⇒3次評価に基づく、改善計画において対応する。	2次評価 B

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8　3次評価及び意見（評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入）

◆「18130 国際化の推進」と目的・手段のあり方を検証し、統廃合を検討すること。 ◆施策・事業の成果を市民にアピールできるような指標「多文化共生の状態を示せる指標」を検討すること。	3次評価 B

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

国際交流・国際協力の推進

コード	18120

構成事務事業一覧

単位：千円

事務事業担当課	構成事務事業	H19決算見込（事業費）	H20予算（事業費）	H21見込額（事業費）	事業効果の高い指標番号	前回の優先順位	H17人員（人）	H17決算額（事業費）	H17合計（人件費含む）
文化国際課	国際交流事業	10,026	16,111	16,111	1	1	2.00	20,194	36,294
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
		10,026	16,111	16,111			2.00	20,194	36,294